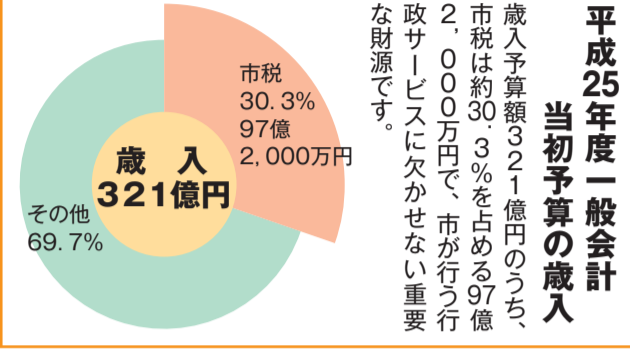


皆さんの暮らしを支えています

税金・各種料金は

皆さんに納めていただく税金や各種料金は、市民生活向上のための貴重な財源となっています。亀岡市では12月を「納付推進月間」と位置付けています。皆さんも、納め忘れがないか再度ご確認ください、期限内納付にご協力をお願いします。

平成25年度一般会計 当初予算の歳入



歳入予算額321億円のうち、市税は約30.3%を占める97億2,000万円で、市が行う行政サービスに欠かせない重要な財源です。

市税

福祉・教育・環境・防災・衛生などの事業や、公共施設の整備など、さまざまな取り組みを進めるための貴重な財源として、皆さんの暮らしに生かされています。未納となっている税金の徴収などは、広域連合「京都府地方税機構」が一括して行っています。

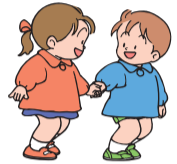


国民健康保険料

病気やけがをしたときに安心して治療が受けられるよう、加入者の皆さんが所得額などに応じて保険料を出し合い、医療費に充てる「助け合いの制度」です。

保育所(園)保育料

保育所(園)は、入所児童に係る保育料などで運営されています。保育料は、扶養義務者の前年分の所得税額、または前年度分の市民税額により決定します。保育所(園)でも納付ができません。



上下水道料金

生活に欠かせない水を供給し、きれいな河川や自然を守るため、上下水道・簡易水道・地域下水道は、使用者の皆さんからの料金などで経営しています。水道料金センターは、土曜・日曜日も開設しています。

介護保険料

超高齢社会を迎え、介護の問題を社会全体で支えていく仕組みが介護保険です。この制度は、皆さんの保険料と税金などで支えられています。



市営住宅使用料

住宅にお困りの市民に、低廉な使用料(家賃)で住宅を供給することで、市民生活の安定と福祉の増進に寄与しています。市営住宅の使用料(家賃)は、入居世帯の所得額と住宅の規模、建設時からの経過年数などに応じて毎年決定します。

し尿くみとり手数料

衛生的で快適な市民生活のためには、し尿くみとりが適切に行われることが重要です。し尿くみとり手数料は、くみとり量に応じて決まります。

その他、幼稚園保育料、放課後児童会負担金、下水道事業受益者負担金などの納付もお忘れなく。特別な事情もなく、市税や各種料金などを滞納していると、滞納処分やサービス制限を受けることがあります。何らかの事情により納付が困難な人は、必ず担当窓口でご相談ください。

コンビニでも支払えます!

市・府民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、国民健康保険料、上下水道料金は、コンビニでも納付できます。また、簡単な手続きでできる、口座振替による納付が大変便利です。

24h・コンビニ

やさしい健康講座 第八十二回



亀岡市立病院 診療技術部リハビリテーション科 作業療法士 あすか 樋口 明日花

「手の使いかた」について考えてみませんか?

生活の中で手を使う機会は意外と多いものです。仕事や趣味でパソコンを使う、字を書く、趣味の手芸など。中でもパソコンは、幅広い年齢層への普及により、キーボードフィンガーやパソコン腱鞘炎といった新たな言葉がメディアで取り上げられています。いわゆる「使い過ぎ」による腱鞘炎は、動作の繰り返しや手

の酷使により、指を曲げ伸ばしするための腱や、それを囲むぎや(腱鞘)に炎症を起こしてしまふことが原因の場合があります。では、どうすれば予防することができのでしょうか。

まず大切なのは、適度に手を休めることです。特にパソコンの使用は、気付けば長時間続けてしまふこともありまふ。例えば画面を見たり文章を考えるときに、マウスやキーボードから手を離す習慣をつけることも、手や指を休めることにもなります。また、キーボードに手を置くときの手首の角度も大切です。手首を上に向けた状態でキーを打つ癖がある場合は、手元にタオルやリストバンドを置き、手首をまっすぐな状態に保つことが大切です。

一度、「手の使いかた」を振り返ってみてはいかがでしょうか。

第8回マニフェスト大賞『優秀賞』を受賞

「セーフコミュニティ活動で国内をリード」



国内初のWHOセーフコミュニティ(MiUNITEI(SC))協働センターの国際認証を取得した亀岡市は、今年2月にSC再認証を取得し、その後、インターナショナルセーフスクール(SCの学校・保育所版)の活動をスタートさせるなど、明確な目標の下、幅広いSC活動に市民の皆さんとの協働で取り組んでいます。今回、この活動が高く評価され、第8回マニフェスト大賞の「優秀復興支援・防災対策賞」を受賞しました。

同大賞は、地方自治体の首長や、地域主権を支える市民活動の実績などを表彰することで、地方政治のさらなる向上と活性化を期待して表彰されています。亀岡市は第4回マニフェスト大賞において「亀岡カーボンマイナスプロジェクト」の活動を

ジェクト」(炭堆肥を活用した農作物の栽培による二酸化炭素削減と、栽培作物のブランド化)と、「アユモドキ(本市に生息する国の天然記念物)の保全活動」が「地球環境政策賞」を受賞して以来、2回目の受賞となりました。

11月1日に東京都で行われた授賞式で栗山市長は「今後SC活動を、市民生活をけん引する基本施策と位置付け、継続的かつ効果的な活動により、亀岡の地に『安全・安心』の風土を根付かせたい」と、喜びを語りました。

審査委員の定基金基さん(左)から表彰状を受け取る栗山市長